【ご参考】

下記は 2024 年 1 月 12 日に NY で配信したリリースの概略部分の参考和訳です。本文と原文の内容に相違がある場合は原文が優先します。原文リリースはこちらからご覧いただけます。

JP モルガン・チェース、2023 年第 4 四半期および通期決算を発表

2023 年第 4 四半期：純利益 93 億ドル (EPS 3.04 ドル)、
FDIC 特別追加拠出金として 29 億ドルを含む（EPS 0.74 ドル減）
2023 年通期：純利益 496 億ドル (EPS 16.23 ドル)

- **株主資本利益率（ROE）12%、有形自己資本利益率（ROTCE）[2]15%**
- **普通株式等 Tier1 比率 [3] 標準的手法 15.0% 先進的手法 15.0% 総損失吸収力（TLAC）[3] 5,140 億ドル**
- **Std. RWA (リスクアセット標準的手法) [3] 1.7 兆ドル、 手元流動性 [4] 1.4 兆ドル、期中平均ローン残高 1.3 兆ドル**

2023 年第 4 四半期（以下、当期）の業績概要 [1]

会社全体（当期 ROTCE: 15% 通期 ROTCE: 21%）

- 特別項目 [2] を除き、当期純利益は 121 億ドル (EPS [5] 3.97 ドル)、ROTCE 19%
- 当期収益は 386 億ドル、管理ベースでは 399 億ドル [2]
- 当期費用は 245 億ドル、オーバーヘッド比率は 63%、管理ベースオーバーヘッド比率 [2] は 61%、当期費用は FDIC 特別追加拠出金 [6] 29 億ドルを含み、オーバーヘッド比率を 7%押し上げた
- クレジットコストは 28 億ドル（22 億ドルの貸倒償却および 5.98 億ドルの貸倒引当金額を含む）
- 期中平均ローン残高は 17%増、もしくは First Republic [7] を除くと 4%増、期中平均預金残高はフラット、もしくは First Republic を除くと 3%減

CCB: コンシューマー＆コミュニティ・バンキング（当期 ROE: 33%、通期 ROE 38%）

- 期中平均預金残高は 4%減、顧客投資資産は 47%増、もしくは First Republic を除くと 25%増
- 期中平均ローン残高は前年比 27%増、もしくは First Republic を除くと 6%増、カード貸倒損失率 2.79%
- デビットおよびクレジットカード販売取扱高 [8] は 7%増
- モバイルカスタマー数 [9] は 8%増

CIB: コーポレート＆インベストメント・バンク （当期 ROE: 9%、通期 ROE 13%）

- グローバル投資銀行業務の手数料収入は 8.8%のウォレット・シェアで今年度、業界トップを維持。
- フィクスト・インカム・マーケッツ収益 8%増、エクイティ・マーケッツ収益 8%減で、マーケッツ業務収益は 2%増の 58 億ドル

CB: コマーシャル・バンキング （当期 ROE: 21%、通期 ROE 20%）

- インベストメント・バンキング＆マーケッツの総収入 [10] は 32%増の 9.24 億ドル
- 期中平均ローン残高は前年比 19%増、もしくは First Republic を除くと 3%増、期中平均預金残高は 4%減

AWM: アセット・ウェルスマネジメント （当期 ROE: 28%、通期 ROE 31%）

- 運用資産残高（AUM）は 24%増の 3.4 兆ドル

【ご参考】

- 期中平均ローン残高は前年比 6%増、もしくは First Republic を除くと 1%増、期中平均預金残高は 4%減

特記事項

- 以下の項目は当期（第 4 四半期）の業績に含まれる。
  ・ コーポレートにおいて、FDIC 特別追加拠出金として 29 億ドルを計上 （1 株当たり利益（EPS)0.74 ドル減）
  ・ 同じくコーポレートにおいて、7.43 億ドルの投資有価証券関連損失を計上（1 株当たり利益（EPS)0.19 ドル減）

資本還元

- 普通株式配当 31 億ドル、1 株当たり 1.05 ドル
- 自社株買い純総額 [11] は 20 億ドル
- 総還元性向 [11, 12] 41%

盤石な財務基盤

- 1 株当たり純資産 16%増の 104.45 ドル、1 株当たり有形自己資本 [2] は前年比 18%増の 86.08 ドル
- バーゼル III 普通株式等 Tier1 自己資本 [3] は 2,510 億ドル、同比率は標準的手法 [3] 15.0%、先進的手法 [3] 15.0%
- 全社ベース SLR（補完的レバレッジ比率）は 6.1%

お客様や地域社会のために

- 23 年における融資および資本調達 [13] 実施額は 2.3 兆ドル
  - 個人のお客様向け融資 2,390 億ドル
  - 米国のスモール・ビジネス向け融資 360 億ドル
  - 法人向け融資 1.0 兆ドル
  - 法人および非米国政府機関向けに実施した資本調達 9,150 億ドル
  - 非営利団体および州、自治体、病院、大学を含む米国政府機関向けに実施した融資・資本調達は 470 億ドル

---

1. 記載されている増減率は、特に注記のない限り前年同期比です。
2. Non-GAAP 財務数値（管理ベースを含む）に関する注記は、英文リリース 6 頁を参照。追加注記は 7 頁を参照。
3. 概算値。CECL資本経過措置規定を含む。2022 年 1 月 1 日以降、普通株式等 Tier1（「CET1」）自己資本 29 億ドルはその後 3 年間にわたって、毎年 25%ずつ減価されます。2023 年 12 月 31 日時点では、CET1自己資本と TLAC は 14 億ドル残存しています。追加情報については、2023 年 9 月 30 日に終了した四半期の Form 10 Q の四半期報告書 48～53 ページ、2022 年の Form 10 K の 86～96 ページのキャピタル・リスク・マネジメントの項目をご参照ください。
4. 概算値。手元流動性には、①適格流動資産（「 HQLA 」）の期末残高が、流動性カバレッジ比率（「LCR」）規制の下で想定される所定のヘアカット（減額）分を除き、含まれています。HQLA は、以下で構成されています。a) LCR 規制が適用される JP モルガン・チェース・アンド・カンパニーにおける HQLA、 b)ノンバンク関係会社に移転できないため、JP モルガン・チェース・アンド・カンパニーの LCR からは除外されている JP モルガン・チェース銀行における余剰流動性の一部として含まれる HQLA 適格証券。 また手元流動性には②市場性のある有価証券（株式や債券）の期末残高も含まれています。一方、③連邦住宅貸付銀行（「FHLB」）からの借入余力や連邦準備銀行（FRB）の貸出は含まれていません。流動性リスク管理の項目に関する追加情報については、2023 年 9 月 30 日に終了した四半期の Form 10 Q の当社四半期報告書の 54～61 ページおよび 2022 年の Form 10 K の報告書の 97～104 ページをご参照ください。
5. 1 株当たり利益（EPS)
6. FDIC が 2023 年に発生した銀行の救済に関連して、保護対象外の預金保護を行うために預金保険基金（「DIF」）に発生した負担を補填するために、特定の銀行に対して負担を求めた特別追加拠出金の影響 29 億ドル（税引き後では 22 億ドル）を含む。
7. 2023 年 5 月 1 日、JP モルガン・チェースは、Federal Deposit Insurance Corporation(以下「FDIC」）から First Republic Bank の特定の資産を買収し、特定の負債を譲り受けました。 本プレスリリースで言及されている「First Republic を除く」または「First Republic に起因するもの」とは、First Republic 買収に関連する影響、また、買収後の関連する事業および活動における影響を、除外、または含むことを指します。
8. コマーシャルカードは除外

【ご参考】

9. 過去 90 日以内にモバイル・プラットフォームにログインしたユーザー数を指します。2023 年 12 月 31 日時点の数字は、First Republic を含まない。
10. 同収入は CB と CIB セグメント間でレベニューシェアされている収入を含んでおり、すなわち、CB セグメント顧客に対して CIB セグメントのインベストメント・バンキング部門内、マーケッツ部門内を通して販売されるプロダクトを含みます。同収入は債券関連、株式関連の商品双方を含みます。追加情報については、2022 年の Form 10 K の報告書の 61 ページ、レベニューシェアの項目をご参照ください。
11. 従業員保有株分の影響を含みます。消費税および手数料は含まない。
12. 過去 12 ヵ月（LTM）
13. 顧客向け与信枠はローンおよびコミットメントを含む新規および継続更新された与信枠を指します。